



Mercedes-Benz

お知らせ

Press Information

2012年4月5日

メルセデス・ベンツ日本 「日立さくらロードレース」に協賛

- ・ 「がんばろう日立！スポーツの力」をスローガンに、震災復興を祈念してランニングを楽しむロードレース
- ・ 先導車としてスマート電気自動車を提供、参加記念 T シャツのロゴ協賛も

メルセデス・ベンツ日本株式会社(以下: MBJ、社長:ニコラス・スピークス、本社: 東京都港区)は、2012年4月8日(日)に茨城県日立市で開催される「第12回日立さくらロードレース」(主催: 日立さくらロードレース 実行委員会等)に協賛し、先導車等のオフィシャルカーの提供や参加記念Tシャツのロゴマークへの協賛をいたします。

MBJが1992年1月に日立市に車両物流の拠点となる新車整備センターを開設して今年で20年を迎えました。2010年からは輸入港を日立港に集約し、日本全国の販売店にメルセデス・ベンツ/スマート車を供給する唯一の施設となっています。昨年の中日本大震災ではこの新車整備センターも被災いたしました。関係者のご尽力のもと昨年中をもって全ての補修・補強工事を完了いたしました。

日立さくらロードレースは、『日本さくらの名所100選』のひとつである日立のさくらのもとを走るロードレースで、2001年の第1回大会以降その風光明媚なコースで人気を博しています。2011年の前回大会は東日本大震災の影響によりやむなく中止となりましたが、本年は無事開催の運びとなり、「がんばろう日立！スポーツの力」をスローガンに、競技者から市民ランナーまで約1万5千名が参加する予定です。

当日は今年年央に欧州メーカーとして初めて日本で発売予定の「スマート電気自動車」2台が先導車をつとめるほか、7人乗り多目的車「Vクラス」が救護車として、MBJ社員がドライバーのボランティアスタッフとして大会運営に協力いたします。

MBJは企業市民として、マラソンを楽しむ皆様とともに、地域の皆様に敬意と感謝をもって、復興支援に参加します。

【日立さくらロードレース 公式ホームページ】

<http://www.hasa.or.jp/sakura/>

*参加の申込受付は終了しました

<スマート電気自動車>



<参加記念Tシャツ背面ロゴ>



【MBJについて】

MBJは、ドイツの自動車メーカーダイムラーAGの乗用車を扱う100%子会社の日本法人です。メルセデス・ベンツが自動車を発明してから100年目となる1986年に設立し、全国に広がる204拠点の正規販売店を通して日本のお客様にメルセデス・ベンツ、スマート製品とサービスをお届けしています。茨城県日立市には1992年1月に新車整備センターをオープン。欧州または北米から船で運ばれてきた新車を、販売店に配車する以前に整備しています。

【スマートについて】

スマートは「最小限のボディサイズで最大限の安全性、快適性、環境適合性」をコンセプトに、メルセデス・ベンツのクルマ作りのノウハウを活かして開発されたマイクロコンパクトカーの草分けで、オリジナリティとデザイン、環境適合性が高く評価されてきました。2008年12月からは全車にアイドリングストップ機能を装備し、燃料消費率は輸入車最高の23.5km/L、それに伴いCO2排出量は99g/kmを実現しています。2010年10月からは日本国内でスマート電気自動車の実用テストを開始。2011年5月からは千葉県柏の葉地域で国内初となるマルチ交通シェアリングシステムに参加、8月には日立市に公用車として電気自動車1台を納車するなど活躍の場所を広げています。2012年年央には欧州メーカーとして初めて市販する予定です。